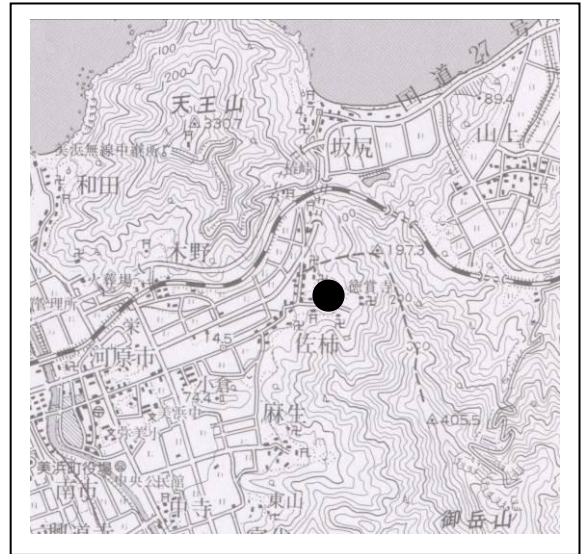


18. 佐柿奉行所跡

さがき びぎょうしよあと
(准藩士屋敷跡)

所在地：三方郡美浜町佐柿地係
調査原因：国吉城址史跡公園整備事業
調査期間：平成30年10月17日～12月21日
調査主体：美浜町教育委員会
調査面積：50㎡
時代：中世末～江戸時代初期



位置図(S=1/50,000)

調査の概要 美浜町では、国吉城址とその周辺遺跡群を含む歴史的景観の保存整備を図り、史跡公園として活用するため、平成12年度より確認調査を実施しています。

平成30年度第19次調査は、前年度に引き続いて山城部本丸跡北西帯曲輪段調査区の詳細調査と、佐柿城下准藩士屋敷跡石垣の確認調査を行いました。ここでは、准藩士屋敷跡に関する成果を報告します。

遺構 佐柿町奉行跡の西に、幕末に小浜藩預りとなった水戸浪士を収容した「准藩士屋敷」跡があり、北面と西面に石垣が残されています。近年まで畑作が行われていましたが、現在は放置されています。

明治150年を迎えた平成30年度、初めて幕末史跡である当地の調査を行いました。既存石垣のうち、西面中央部は約4mに渡る盛土となっており、下層に屋敷地に上がる石段や門跡の存在が考えられました。

調査は、この石垣欠損部及びその天端面の精査を行いました。その結果、石段等が想定された欠損部は、石垣裏に充填する裏込石層が崩落した状態が検出され、町道際のアスファルトしたに石垣下層部が埋まっていることが確認され、この部位は石垣が撤去された跡であることが判明しました。天端面においても、門礎石等は検出されず、現存石垣とほぼ平行する石垣裏込石層のラインが確認されました。

遺物 極めて少量で、染付皿片が出土したのみです。

まとめ 今回、門の検出には至りませんでした。古記録によれば、准藩士屋敷には門2か所、将校屋敷1棟、長屋4棟、役所1棟、牢屋1棟があったと伝わり、次年度はこれら建物跡の確認を行いたいと思います。
(大野康弘)



西面石垣欠損部精査状況(西より)